

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称					実施主体				
子育て支援イベント事業					西区役所 子育て支援課				
事業目的			事業内容		活動指標		R3	R4	R5
・西区内の公園や体育館に出向き、子育て家庭向けイベントを実施することにより、普段、区役所で行われるイベントや校区子育てサロンに参加していない子育て家庭に対して、堺市の子育て支援情報をPRし、子育てサロンや子育てひろばの案内など子育て支援サービスの利用を促進して、親子同士の交流を図り育児の孤立化の予防につなげる。また、屋外ならではの遊びを提供し、戸外遊びの楽しさ・重要性を伝える。 ・子育て家庭が子育て支援の利用に関する情報を獲得し、子育て支援サービスの利用を促進する。			・堺市の子育て支援情報紙を配布、配架 ・保育士・保健師による子育て相談(随時) ・絵本の読み聞かせ、紙芝居、バラパルーン、親子で遊べる手遊び ・公園や体育館で大勢の子どもたち同士でできる遊具を使った遊び ・子育て支援コーディネーターによる保育所申請に向けた園の選び方や講師を招いてのお金に関する講座を実施。 ・子育て世代に向けた講座イベントの開催 ・今年度は新型コロナウイルスの影響により、例年よりも少ない人数でのイベントを実施。 ・子育て支援コーディネーターによる保育所等への入所に向けた講座をYouTubeにて配信。		イベント・講座参加人数		87名	304名	228名
					参加後アンケート結果 イベントに参加してよかったか 「とてもよかった」「よかった」と回答した割合		100.0%	100.0%	100.0%
①妥当性			②協働の視点		③インパクト			④効率性	
◎	親子で楽しめるイベントに参加し、親子同士の交流をすることにより、子育てに関する悩みを共有したり保育士、保健師から具体的な助言ができた。また堺市の子育て支援の情報を幅広い人たちに知ってもらい、育児の孤立化予防に効果があり、必要性は高い。		◎	本事業は区が主体となりイベントを実施したが、当日は子育て支援アドバイザーが手遊びの紹介やアドバイスをしたり、参加者が自発的に参加者同士の交流を図ったり悩みの共有等を行い、協働してイベントを実施することができた。	○	保育所等への入所に向けた講座の動画をYouTubeで配信したことで、これまで対面式やオンライン型であっても人数制限を設けていたものが、希望者全員に期間内にいつでも視聴してもらうことができた。		○	YouTube配信は視聴希望者が多く、保育所等の入所に関わる情報を多くの区民に伝えることができたため、来年度も継続したい。 対面型イベントにおいて、募集人数に満たないイベントがあった。今後、イベントの広報の方法や区民が求めるニーズに合わせたテーマのイベントを検討する必要がある。
⑤自立発展性			総合評価						
○	イベント事業のうち、西区内の公園や体育館でのイベントは子育て支援アドバイザー等、地域の支援者にも参加していただき、区民協働に発展させることができた。		○	今年度は対面型イベントを予定通り全て開催することができた。特に公園や体育館で実施したイベントは、広いスペースでしかできない様々な体験型の遊びを提供したことで、参加者の笑顔が多く見られた。その他の対面イベントにおいても親子同士の交流や保護者に自宅でもできる遊びやヨガ等を学んでもらうことができた。全てのイベントの参加者アンケートの満足度は100%であったが、対面型イベントにおいて参加者数が伸びないことが課題である。 また対面型以外でも、9月から約1ヶ月間、「認定こども園・保育所等の入所についてのお話」というテーマで動画を公開し、受講希望者がいつでも視聴できる環境を作り、より多くの希望者に情報を伝えることができた。特に育休復帰や保育所入所の情報を知りたいというニーズがあることがわかった。 今後は今、子育て世帯に求められているニーズをアンケート等を通してつかみ、多数の希望者にニーズに合った情報を伝える方法を検討するとともに、引き続き親子が対面で交流し、区民や子育て支援アドバイザー、区の職員が協働できるようなイベントを作り上げていきたい。					
今後の方向性(課題、改善提案等)									
拡充 継続 見直し 廃止	今年度は対面での事業を展開し実際にふれあいながら、遊びの楽しさや重要性、また子育て支援サービスに関する情報を提供し、具体的な悩みを共有し助言を行うことができた。一方で、参加者数が伸びないイベントもあり、今後は子育て世帯が求めているニーズに合ったテーマのイベントを企画したり、広報の方法を見直し、より多くの区民が参加しやすくなるような工夫が必要であると考える。 また、今年度より各イベントに子育て支援アドバイザーによる情報発信、レクチャーの時間を設けたことが区民に好評であり、子育て支援アドバイザーのスキルアップにもつながるため、来年度も子育て支援アドバイザーと区民が関わる機会を多く設けていきたい。								